

世界遺産登録 再チャレンジ

平泉の文化遺産は、平成23年の世界遺産登録を目指して、再チャレンジがスタートしました。このコーナーでは、登録に向けた取り組み状況についてお知らせしていきます。

第13回 推薦書正式版を最終確認

「世界遺産登録推薦書暫定版」提出に関わる町民報告会が11月21日、平泉文化遺産センターを会場に開催されました。9月末に提出された推薦書暫定版の内容について、推薦書作成委員の大矢邦宣同センター館長が分かりやすく解説しました。



推薦書暫定版提出に関する町民報告会で解説する大矢平泉文化遺産センター館長

11月26日には、東京霞が関の中央合同庁舎で第8回推薦書作成委員会が開かれました。平泉の文化遺産世界遺産登録推薦書が、年明け早々にユネスコ世界遺産センターに提出される予定であり、今回の会議では推薦書の提出直前と

いうことで、正式版推薦書に関する最終確認の場となりました。詳細は来月号でお知らせします。

正式版推薦書の提出は「世界遺産登録再チャレンジ」の最重要のステップです。イコモスによる審査や調査は基本的に推薦書の内容に基づいて行われることになります。

スケジュール通りに推薦書作成作業が終了したことから、文部科学省は文化審議会文化財分科会と世界遺産特別委員会を開催し、推薦書提出について承認を得る予定です。その後、政府の世界遺産関係省庁連絡会議で了承された後に提出されます。

推薦書作成委員会は、昨年の「登録延期」後に、新メンバー2人を加えてスタートしました。昨年9月に1回目の会議が開かれ、それ以後ほぼ1カ月おきに開催され、再チャレンジでの「平泉」の主題設定や価値証明、あるいは構成資産など、慎重に議論が続けられてきました。今後もイコモスの現地調査や追加情報の提供など、重要な段階に対応して会議が開かれる予定です。

平泉を掘る

今年6月から7月にかけて、金鶏山南東側のすそ野に当たる平泉字鈴沢地内の「花立 遺跡」で住宅予定地の発掘調査を行いました。ここから奥州藤原氏以後に平泉を治めたと伝わる中世の葛西氏が支配していたころに使われていた井戸跡をはじめ、「掘立柱建物跡」や「溝跡」などの遺構が見つかりました。

井戸跡は直径約4.3m、深さ約4.2mの規模で、上面では円形ですが、約2mの深さで明瞭な段差があり、その下は方形に掘られています。埋められた土の中からは四角い柱材が数本出土し、その先端には材と材をつなぐ突起がありました。このことから当初、方形に掘られた井戸には井戸杵があり、これを何らかの理由で廃棄するとき、周囲を大きく掘りくぼめ、木杵を取り除いて埋め戻した痕跡だと分かりました。

井戸からは「かわらけ」「常滑産甕」「瀬戸焼の皿」などが出土し、13世紀後半から14世紀初頭の遺構であることが分かりました。溝跡や建物跡の柱穴からも同様の遺物が出土しています。

発掘最前線⑧ 一花立Ⅱ遺跡23次調査・中世の井戸跡と建物跡一

なぞの多い中世・葛西氏時代の平泉が姿を現した貴重な発見ということができるでしょう。平泉文化遺産センター 菅原計二



中世・平泉の井戸跡と建物跡の柱穴（北から）

第10回 平泉文化フォーラム 平泉文化研究の今まで、そしてこれから—柳之御所遺跡の成果と展望—

平泉文化についての最先端の研究を公開する平泉文化フォーラムが開催されます。事前の申し込みは不要で、どなたでも参加できます。入場無料です。

日時…12月5日（土） 9：30～16：45
（受け付け9：00～）

場所…平泉小学校体育館
駐車場は、町営毛越寺駐車場をご利用ください。

内容…【基調講演】
「柳之御所遺跡の発掘調査 日本史に与えた影響と意義」
河原純之さん（平泉遺跡群調査整備指導委員会委員長）

【パネルディスカッション】
▷西澤正晴さん（県平泉遺跡群調査事務所）

- ▷島原弘征（町主任文化財調査員）
- ▷前川佳代さん（奈良女子大学）
- ▷羽柴直人さん（県埋蔵文化財センター）
- ▷誉田慶信さん（県立大学）

- 【遺跡報告】
- ▷柳之御所遺跡
 - ▷無量光院跡
 - ▷南日詰小路口 ・ 遺跡
- 【ポスター掲示式の研究発表】
- ▷長者ヶ原廃寺跡
 - ▷白鳥館遺跡
 - ▷人首川流域の平泉関連遺跡調査

問い合わせ先
県教委事務局生涯学習文化課 ☎019-629-6173
県平泉遺跡群調査事務所 ☎46-2820



平泉文化を掲げたメイン看板 名入りエプロンで平泉野菜をPR



平泉町物産ブースを訴求 平泉のりんごも特産品です！

「第27回江東区民まつり」が10月17、18日の2日間、都立木場公園で開催されました。主催の江東区民まつり中央実行委員会を主管する、江東区役所・区民交流係は「協賛企業・団体数はほぼ前年並みだったが、来場客数は昨年より1万人減の42万人。北海道から沖縄まで17都道府県の物産展・即売コーナーがある『はるばるバザール』は、昨年よりプラス1（栃木県小山市）の36市町村が出席された」と公式発表しました。

東京・江東区民まつりに出展 平泉文化と特産品を訴求

平泉町からは、高橋町長と千葉商工観光担当課長が17日の開会式に出席されたのをはじめ、役場職員7人、平泉特産物の生産・販売関係者14人が参加しました。

平泉町物産展のコーナーには江東区民に交じって平泉出身者・ふるさと平泉会員も詰め掛け、懐かしい故郷の野菜、果物、漬け物、清酒、生菓子を購入。名物の「いものこ八斗汁（300円）を賞味しました。

平泉町出身者数人に江東区民まつりについての印象や感想を聞くと、「広い会場で催し物が多く楽しい。バザールでの買い物と同級生との再会・交流に意義があり、来てよかった」とすべて好評でした。

来年の第28回江東区民まつりは10月16、17日の開催と決定。参加者が増え、さらに多くの交流の輪が広がることを期待したいと思います。

ふるさと平泉会副会長 鈴木 喜佐人



江東区民まつりで交流を深めた平泉町出身の皆さん = 10月18日